

2025年10月30日

# 原料費調整制度に基づく2025年12月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

## 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA~Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

			(,
1ヵ月の	料金表A	料金表B	料金表C
ご使用量	$0\sim 24\text{m}^3$	25~500m <sup>3</sup>	$501\text{m}^3 \sim$
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m³)	169.28	147.73	135.11
(参考) 11月 調整単位料金	170.05	148.50	135.88

# 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 36m³(45MJ/m³)	2025年 11月	2025年 12月	増減
適用料金(円/月)	6,642	6,614	▲ 28

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度~2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

# 3. 原料価格の変動

(円/t)

			(1 1/t)
	2025年6月~2025年8月 の平均	2025年7月~2025年9月 の平均	対前期
	(11月検針分)	(12月検針分)	差額
平均原料価格(a)	81,530	80,590	<b>▲</b> 940
LNG	85,020	84,050	<b>▲</b> 970
LPG	80,400	79,370	<b>▲</b> 1,030

基準平均原料価格(b)	54,8	54,870	
差額(a-b)	26.600	25.700	▲ 900

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

## 4. 単位料金調整額の算定方法

## <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値) 84,050 ×0.9206 79,370  $\times 0.0405$ +LPG平均原料価格(貿易統計值)

80,590.91 ↓(10円未満四捨五入) 80,590 円/t

#### ■原料価格変動額の算定



■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定 25,700 円 単位料金調整額= /100円×0.0858 $^{*1}$ 22.05 円\*2

- \*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。
- \*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

## 5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

本体料金(税込) = 基本料金(1,296.10円) + 調整単位料金(125.68円 22.05 円) ×36m<sup>3</sup> + 基準単位料金(税込)↑ 単位料金調整額(税込) 6,614 円 ・本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス $1m^3$ あたりの単価)を調整 する制度です。
- ・「基準平均原料価格 (54,870円/t)」と「平均原料価格 (料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPG の輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス $1m^3$ あたり0.0858円(0.078円に1.1(消費 税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円(調整上限)を超えた場合には、「平均原料価格」は 149,570円としてガス料金の調整を行います。